



千葉県立京葉工業高等学校

創立 昭和35年4月1日
所在地 〒263-0024 千葉市稲毛区穴川 4-11-32
電話 043-251-4197
FAX 043-251-9717
URL <https://cms1.chiba-c.ed.jp/keiyo-th/>

学校長 黒川 康宏
教頭 高嶋 聡明
事務長 山下 昭子

学校の種別・課程・募集予定人員

(全日制) 男女共学

機械科	2 学級	80名
電子工業科	2 学級	80名
設備システム科	1 学級	40名
建設科	1 学級	40名

在籍人員

	1年	2年	3年	計
男	201	206	201	608
女	21	12	10	43
計	222	218	211	651

年間必要経費と納期 (令和3年度)

1. 入学手続き時納入金額

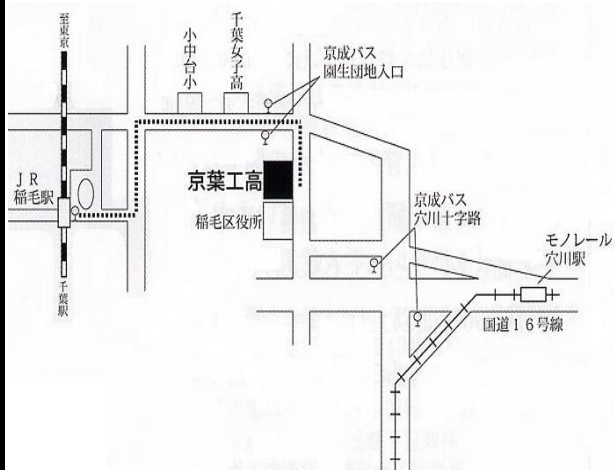
合計 47,650円

項目	金額	項目	金額
入学料	5,650	PTA入会金	300
団体費等	17,400	生徒会入会金	400
		諸費(参考書など)	24,000

2. 入学後の一般年間経費

- ・修学旅行積立金は、旅行者へ直接積立となります
- ・授業料については高等学校等就学支援金制度があります

利用交通機関



- JR稲毛駅下車(東口) 徒歩約15分
- JR稲毛駅下車(東口)から『園生団地入り口』下車
・1番乗り場から京成バス「草野車庫」行き
・2番乗り場から京成バス「ファミリーハイツ」行き
- 千葉都市モノレール「穴川」下車徒歩約6分

学校の教育方針・(目標)・特色

教育方針

- (1) 高い教養と広い視野を持ち、社会生活に適応し得る工業人を育成する。
- (2) 創意工夫の能力を養うとともに、ものごとを合理的に処理できる人を育成をする。
- (3) 勤労を尊び責任を重んじて、実践力の優れた人を育成する。
- (4) 健康で明るい進取的な人を育成する。

本校は千葉市の西郊高台の交通至便の地にあります。緑の木立と芝生に囲まれた約5万㎡の校地にある教室・実験室及び実習室には、全国的に見ても高水準の各種機械や実験装置が設置されています。生徒は人格の形成と技術の習得に日夜励んでいます。

部活動と主な学校行事

部活動は、運動系14、文化系11があり、生徒は楽しく、熱心に活動している。昨年度、運動系ではレスリング部が関東大会や国民体育大会に出場し、文化系では建設研究部がものづくりコンテスト(測量部門)の関東大会で第2位になる活躍をしている。主な学校行事としては2年生の修学旅行、文化祭(京工祭)、球技大会、芸術鑑賞会、産業見学などがある。

卒業生の動向 (令和2年3月卒業生)

卒業生	就職	進学	その他
212	128 (60.4%)	77 (36.3%)	7 (3.3%)

○主な就職先

【斡旋就職先】

出光興産(株)、東洋佐々木ガラス(株)千葉工場、住友重機械工業(株)千葉製造所、(株)日立産機ドライブソリューションズ、ミズホ(株)千葉工場、(株)朋栄佐倉研究開発センター、東洋アルミニウム(株)千葉事業所、SEMITEC(株)、京葉臨海鉄道(株)、(株)関電工、千葉日産自動車(株)、(株)千葉パワーテクノ、京成電設工業(株)、リコージャパン(株)、JFEコンテナ(株)千葉工場、高圧ガス工業(株)佐倉工場、タカラスタンダード(株)千葉工場、セイコーインスツル(株)高塚事業所、(株)ネクスコ・メンテナンス関東、(株)アクティオ、(株)HINASP、タカラスタンダード(株)千葉工場、進和建設(株)、鹿島道路(株)、(株)紀文食品 船橋工場、積和建設東関東(株)、

【公務員実績】

海上自衛隊、陸上自衛隊自衛官候補生、上総水道企業団、国家Ⅲ類土木、国土交通省関東地方整備局

○主な進学先

千葉工業大学、ものづくり大学、日本大学、日本工業大学、東京情報大学、明海大学、千葉商科大学、拓殖大学、神奈川大学、千葉経済大学、江戸川大学、城西国際大学、千葉職業能力開発短期大学校、日本自動車大学校、国際理工情報デザイン専門学校

令和2年度の入試実績

- ・2日目の学校設定検査は「面接検査(集団)」で実施。
- ・外国人の特別入学者選抜を実施。

学校説明会・体験入学について

- ・学校説明会 8月中旬
- ・体験入学 10月初旬

特記事項

※学校見学は予め電話にて予約ください。

※取得資格の受験

ボイラー技士、危険物取扱者、電気工事士、特殊無線技士、情報処理技術者試験、アマチュア無線技士、測量士補、情報技術検定、電気工事・管工事・土木・建築施工管理技術検定、技能検定(電子機器組立、機械加工、建築大工、とび)